

2024 年度

ニチイキッズ川名保育室 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025 年 1 月 7 日（火）～2 月 7 日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月27日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念に基づき、保育計画を作成し、会議を通して全職員で共有してきた。これからも、職員が同じ方向を向いて保育できるようにしていきたい。
子どもの発達援助	子どもたち一人ひとりに合った配慮ができるように日々話し合い、共有していくことで、保育内容を見直し、よりよい援助ができるよう努めた。また、子どもたちの成長に合わせて活動内容を考えてきたが、年齢別と区切らず、計画を立て異年齢で過ごす時間も取り入れ、心も体も育つよう働きかけた。
保護者に対する支援	懇談会や運動会等の行事を通して、保育者と保護者間の交流ができるように取り組んだ。また、送迎時や連絡帳にて、子ども達の成長や子育てに関する悩みに対して丁寧にやりとりを重ねるようにした。
保育を支える組織的基盤	15 分 MT や全体会議以外に、活動や行事等、項目毎に計画的に会議を実施し、職員間で話せる機会を多く設けた。さらなるスキルアップを図るため、今後も園内研修を取り入れ、外部研修にも積極的に参加し、学べる機会をつくっていききたい。

総評
今年度は、子どもの人権について考える機会を増やし、その上で話し合いを重ねながら、安心・安全な環境で、子ども達一人ひとりの発達に合わせて、保育内容や体制を見直したり、異年齢保育も取り入れてきた。そうすることで、子どもたちがより過ごしやすく、活動を広げることに繋がった。次年度も引き続き、一人ひとりに合った保育内容と環境作りに努めていく。また、保護者との繋がりを大切に、子育て支援にも力を入れていきたい。